

選考基準

1次選考において、見積書提出依頼事業者を決定する選考基準は、下表のとおりです。
 選考委員会の各委員がそれぞれ採点し、各委員の得点合計が評価点となります。
 最高評価点を得た事業者及び最高評価点に対し80%以上の評価点を得た事業者に見積書提出を依頼します。

選考基準	配点	構成比	評価内容・ポイント	
1 提案者評価	80	40.0%		
1 プロジェクト推進体制①	10	5.0%	・プロジェクトを遂行するための十分な体制が取られているか。	
2 プロジェクト推進体制②	15	7.5%	・プロジェクト遂行にあたって、会社としてのバックアップ体制が優れているか。	
3 プロジェクト管理	5	2.5%	・プロジェクト管理にあたって、遅滞なく進捗する管理手法について説明がされているか。	
4 プロジェクトリーダーの資質①	10	5.0%	・プロジェクトリーダーの業務遂行能力は十分か。	
5 プロジェクトリーダーの資質②	10	5.0%	・プロジェクトリーダーのコミュニケーション能力は十分か。	
6 プロジェクトメンバーの資質	10	5.0%	・プロジェクトメンバーの業務遂行能力は十分か。	
7 会社の資質①	15	7.5%	・会社としての他団体等の最適化支援に関する取り組み実績が、本業務を遂行するうえで望ましい内容か。	
8 会社の資質②	5	2.5%	・会社の保有する資格が、本業務を遂行するうえで望ましい内容か。	
2 業務評価	45	22.5%		
1 企画・予算要求支援	10	5.0%	・実施方法が具体的に示されており、内容的に優れているか。	
2 調達支援	10	5.0%	・実施方法が具体的に示されており、内容的に優れているか。	
3 システム構築・運用段階における支援	5	2.5%	・実施方法が具体的に示されており、内容的に優れているか。	
4 調査・リサーチ	10	5.0%	・実施方法が具体的に示されており、内容的に優れているか。	
5 ドキュメント整備	5	2.5%	・実施方法が具体的に示されており、内容的に優れているか。	
6 本市とのコミュニケーション/受付時間	5	2.5%	・実施方法が具体的に示されており、内容的に優れているか。	
3 その他評価	55	27.5%	0.0%	
1 業務継続性・安定性	15	7.5%	・内部PMOの人員交代時、本市PMOの業務品質を維持するための対応は考えられているか。	
2 最新動向への対応	15	7.5%	・ICTに関する最新の技術やそれらを踏まえた国及び地方公共団体等の情報化施策・事業の動向を把握し、本業務に取り入れるための対応が考えられているか。	
3 本市情報システムの方向性	20	10.0%	・本市が保有する情報システムに関し、今後10年程度を見据えた場合に進むべき方向性、考えられる選択肢、課題解決の道筋に関して考えられているか。	
4 公平・公正な観点での業務遂行	5	2.5%	・公平・公正な観点で本業務を遂行する意識、姿勢が認められるか。	
4 総合評価	20	10.0%		
総合評価	20	10.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の印象について、本業務への取り組み姿勢や本業務を完遂する熱意が感じられるか。 ・質疑応答について、本市の質問の意図を理解し、関連業務等への影響も考慮した上での得た回答ができていないか。 ・本市の目的、背景及び現状を正しく理解し、的確な課題認識をしているか。また、課題解決のための取り組み方針等が説明されているか。 ・付加価値的な提案がなされているか。 ・提案書の記述は、簡潔にわかりやすく、具体的に記載されているか。 など 	
得点合計	200	200	100.0%	100.0%

採点方法は次のとおりです。
 評価点 = 5段階評価の点数 × 各評価項目の配点に応じた重み付け(配点5点=1倍、配点10点=2倍、配点15点=3倍、配点20点=4倍)

評価内容 段階	点数	評価点			
		配点5	配点10	配点15	配点20
非常に優れている	5	5	10	15	20
優れている	4	4	8	12	16
普通	3	3	6	9	12
劣っている	2	2	4	6	8
非常に劣っている	1	1	2	3	4